



2021年12月期 決算説明会

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード 7989)

※2022年4月4日～プライム市場へ移行



2022年3月1日、新社長に池崎久也が就任致しました。

社会環境が大きく変化する中、世代交代を図り、
経営体制のより一層の強化を図ります。

氏名（生年月日）	略歴		所有株式数
いけざき ひさや 池崎 久也 (1966年2月14日生)	1988年 4月	当社入社	2,600株
	2018年 9月	当社営業推進部長	
	2019年 3月	当社取締役営業推進部長	
	2019年 7月	当社取締役営業部門担当 兼マーケティング本部長	
	2021年 4月	当社常務取締役営業部門担当 兼マーケティング本部長	
	2021年11月	当社常務取締役 マーケティング本部長	
	2022年 3月	当社代表取締役社長(現)	



- | | |
|------------------|------------|
| 1. グループ概要 | P 3 |
| 2. 決算概況 | P14 |
| 3. 今後の見通し | P27 |



1. グループ概要

立川ブラインド工業は、インテリア業界No.1を目指します

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月※昭和22年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
連結総資産	606億円
売上高	連結 412億円 (単体 316億円)
従業員	連結 1,252人 (単体 798人)
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工
	【営業拠点】 全国68カ所
	【製造拠点】 2工場3製作所
	【ショールーム】 13カ所(海外1カ所含む)
	【連結子会社】 8社



本社

インテリア関係が8割強を占める

駐車場装置関連事業:8.7%

売上高 3,579百万円

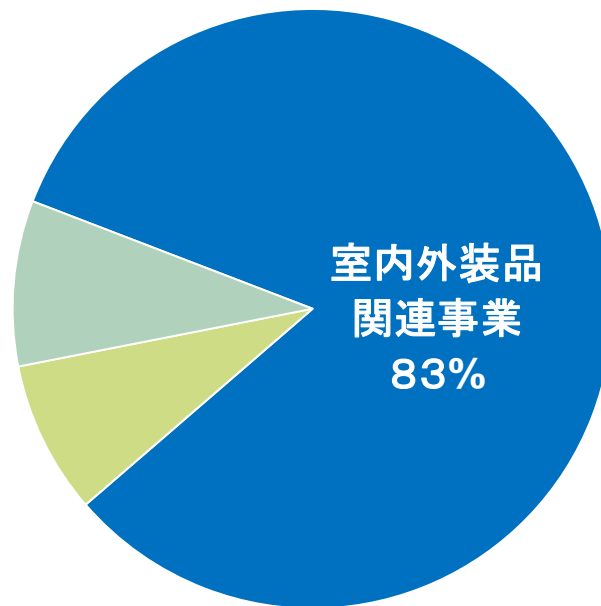
営業利益 358百万円



減速機関連事業: 8.3%

売上高 3,411百万円

営業利益 193百万円



室内外装品関連事業:83.0%

売上高 34,245百万円

営業利益 4,005百万円

(2021年12月期実績)

富士変速機(株)

- 名証2部 資本金:25億(当社55.6%保有) 従業員:227名
- 2021年実績:売上 71億(前年比+15.2%)、経常利益 5.3億、純利益 3.6億
- 駐車場装置:くし歯式立体駐車場装置
- 減速機:汎用減速機(ギヤードモータ)・特殊減速機・シャッター駆動装置

近年、遮蔽性などの付加価値の高い高機能製品の開発、提案を中心とした需要喚起、ラインナップ拡充



昇降コード穴がない遮蔽性の高い
ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」
2012年9月発売



取付けが簡単な電動製品でリモコン
やスイッチで簡単に操作ができる
「ホームタコス ラインドレープ」
2021年8月発売



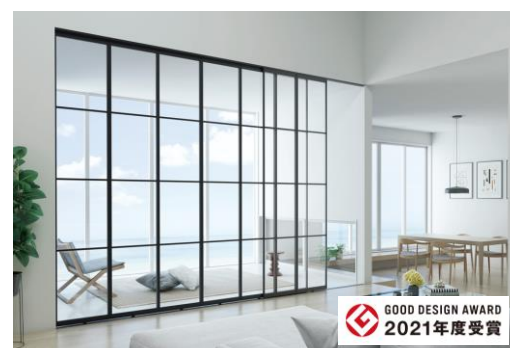
スラットの反射光による不快な眩し
さを抑えて「省エネ」と「快適」を両立
「グロスレス遮熱スラット」
2021年8月発売



安全性・操作性に優れたチェーン
操作のヨコ型ブラインド
「パーフェクトシルキー チェーン」
2019年7月発売



機能と納まりを拡充した間仕切「プレイス」と「プレイス スウィング」
「プレイス スウィング」は2021年度のグッドデザイン賞を受賞



2021年10月発売

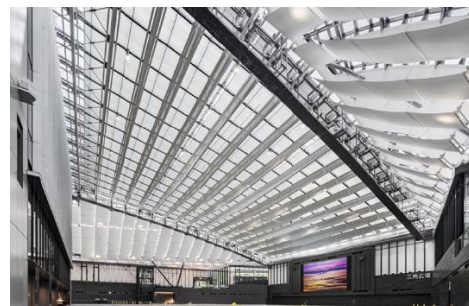
ブラインド用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、
お部屋をコーディネートする。

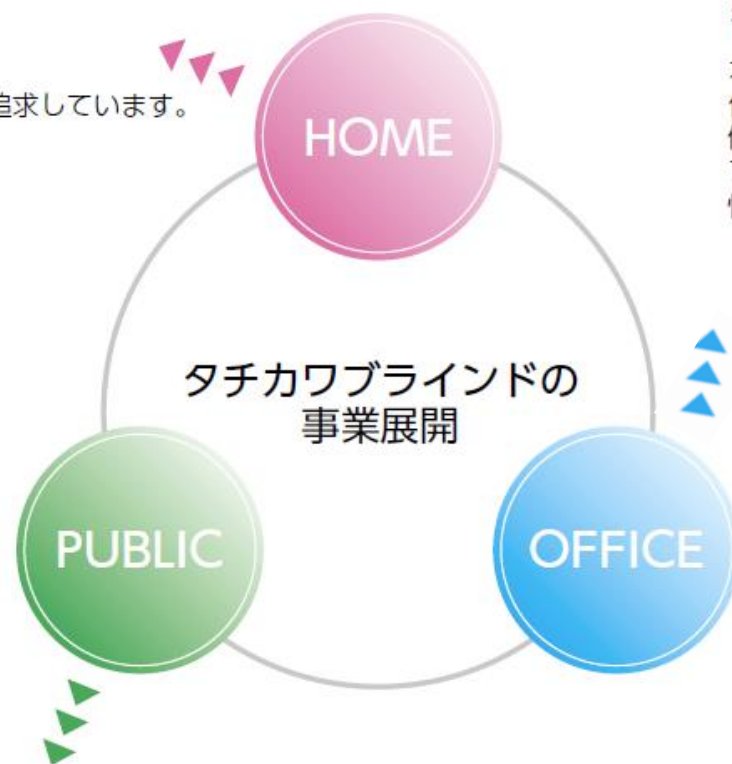
本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキー チェーン



新宿住友ビル三角広場



高度化するビジネス空間を、
もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



左:丸の内ビルディング
右:赤坂インターシティAIR

公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、病院、スポーツ施設など、
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

多品種

(ヨコ型ブラインド スラット300色以上を初め、
業界トップクラスのカラーラインナップ)

地域に密着した一貫体制の確立

開発

販売

全国 68拠点

生産

2工場・3製作所

施工

施工業者を組織化

— 各業務プロセスを内製化することにより、お客様の声をそのままカタチに —

短納期

【受注後 2～10日】

情報システムによるオーダーエントリーとリアルタイムの
製作指示・在庫管理・出荷の迅速処理

オーダー生産

【幅0.5cm・高さ1cm単位で製作】
サイズ・色柄・操作位置など
製品在庫は原則ナシ

地域に密着した、きめ細かな事業展開

支店・営業所 国内68カ所
ショールーム 国内12カ所

- 本社
- ★ ショールーム
- 支店
- 営業所
- ▲ 工場
- ▼ 製作所



《主要拠点にショールーム設置》

- 銀座ショールーム
- 新宿ショールーム
- 札幌ショールーム
- 仙台ショールーム
- 信越ショールーム
- 横浜ショールーム
- 名古屋ショールーム
- 金沢ショールーム
- 大阪ショールーム
- 高松ショールーム
- 広島ショールーム
- 福岡ショールーム
- 上海ショールーム

・・・海外(中国)

2工場・3製作所

当社は、SDGsに賛同し、ブラインドや間仕切をはじめとするインテリア製品を通じて、「人にやさしい快適な環境づくり」を提案するとともに、環境負荷を低減しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

建築物内外の生活環境の改善



- ・高機能・高品質な製品開発、省エネに寄与する製品開発
- ・インテリアデザインの追求
- ・安全・安心の追求
- ・最新技術への取り組み

働きやすい労働環境と社員の多様性



- ・社員の多様性と柔軟な働き方の推進
- ・人材育成
- ・社員の健康管理の増進

社会貢献活動



- ・デザイン・芸術・文化等に携わる人々の活動の場を提供
- ・被災地支援等
- ・更生保護財団の設立

環境負荷低減



- ・ISO14001に基づく活動
- ・CO2排出削減
- ・廃棄物の削減
- ・水の管理
- ・資源の有効活用

持続可能性かつ透明性の高い企業活動



- ・コーポレートガバナンス
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント

2020年度 窓まわりインテリア市場

卸売ベース 約 1,900億円 (内、ブラインド類 約 887億円)

構成比 約 6割

構成比 約 4割

カーテン 996億

ブラインド
296億

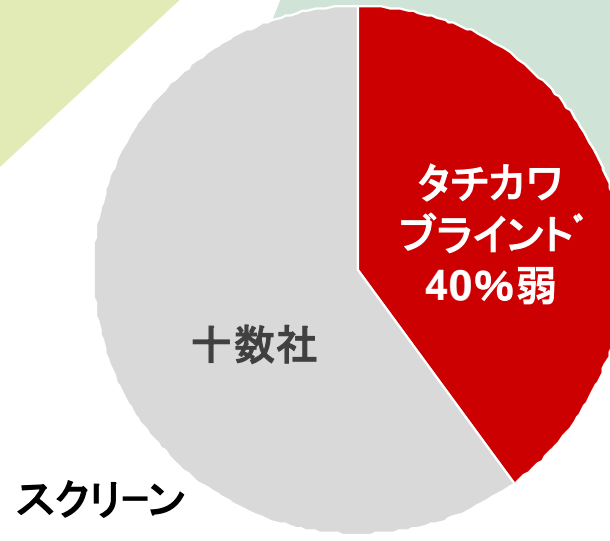
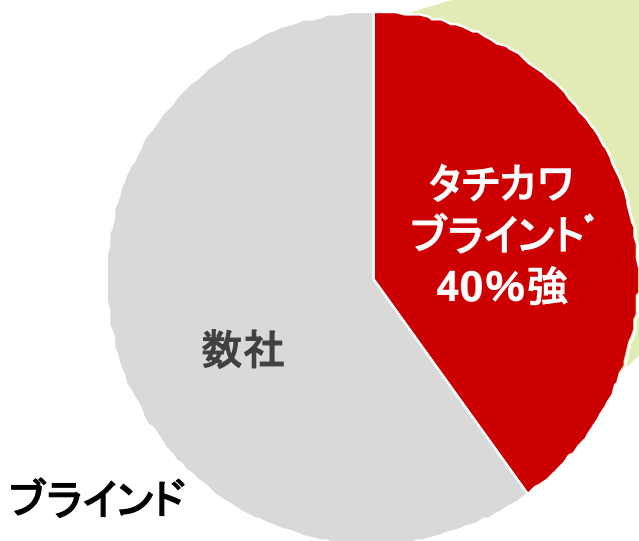
スクリーン
370億

カーテンレール
221億

ブラインド類 約887億円

ブラインド類、スクリーン類でNo.1シェア

シェア2位

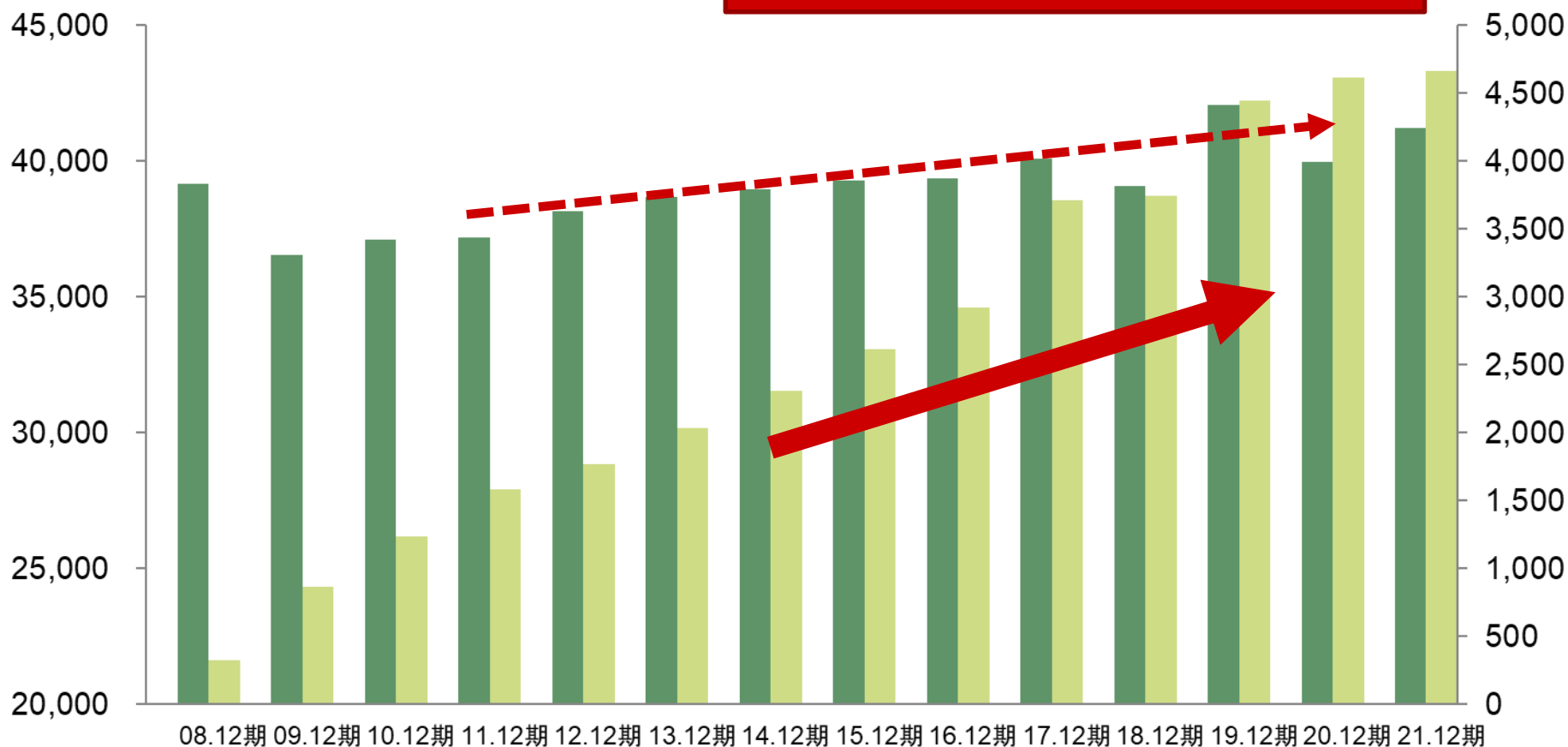


2008年以降、収益改善。経常利益13期連続増益。

(単位：百万円)

売上の増加傾向に従い、利益体質に転換

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸) ■ 経常利益 (右軸)

基準項目	移行基準日(2021年6月30日) における上場維持基準		当社の数値	判定	判定日・期間等
株主数 (単元株主)	プライム市場	—	4,744人	○	2020年12月末、 単元株所有株主数
流通株式数	プライム市場	20,000単位以上	89,351単位	○	2020年12月末、 流通株式 8,935,165株
流通株式 時価総額	プライム市場	100億円以上	118億円	○	2020年12月末、 流通株式 8,935,165株 × 1,327.2円(本年4-6月平均)
流通株式 比率	プライム市場	35%以上	43%	○	2020年12月末、 流通株式数／発行済株式数
売買代金	プライム市場	20,000千円/日以上	20,438千円/日	○	2020年7月1日～2021年6月30日の 1日平均売買代金



2. 決算概況

連結累計期間

売上高 412億36百万円

営業利益 45億57百万円

経常利益 46億63百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

28億68百万円

- 売上高は前期+3.1%増加
- 営業利益は前期比+0.5%増加
- 経常利益は前期比+1.0%増加
- 親会社株主に帰属する
当期純利益は前期比△1.1%減少

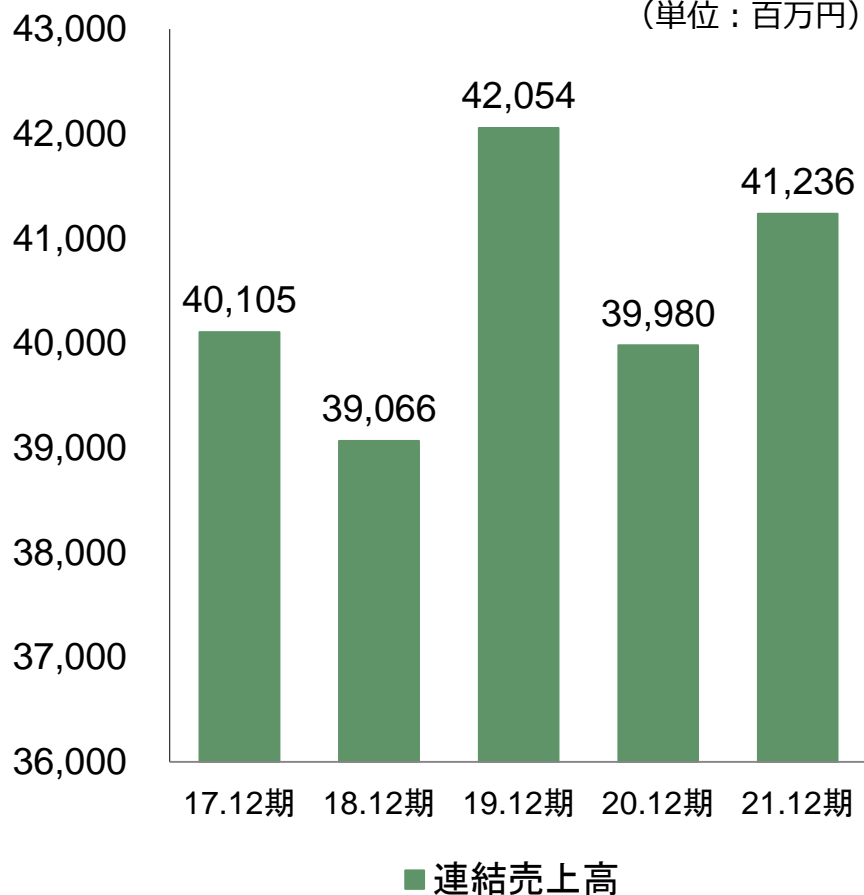
国内経済

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や緊急事態宣言の解除を背景に、個人消費や企業の設備投資はやや持ち直しの動きがみられたが、依然として先行き不透明な状況で推移。

建設・住宅業界においては、コロナ禍での住宅着工戸数減少の反動により、持ち直しの動きは見られるが、世界的な原材料のひっ迫や価格高騰等、また、世帯数の減少や住宅の長寿命化等により新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境が続いた。

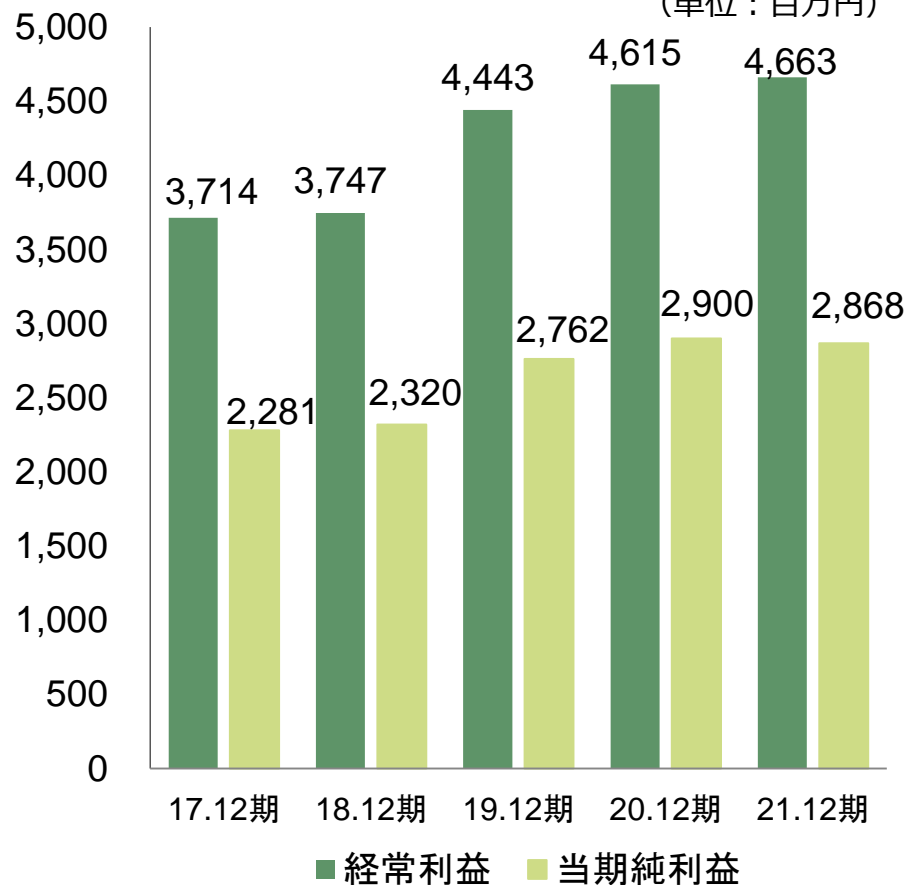
連結売上高の推移

(単位：百万円)



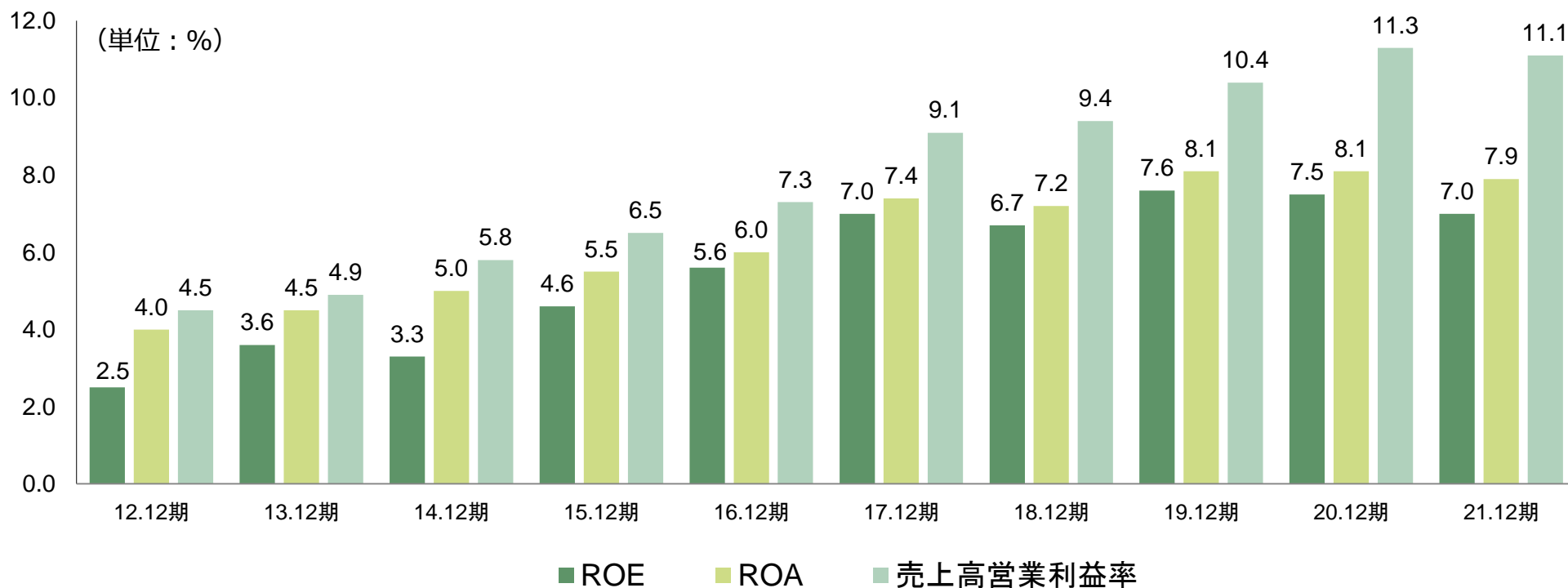
連結利益の推移

(単位：百万円)

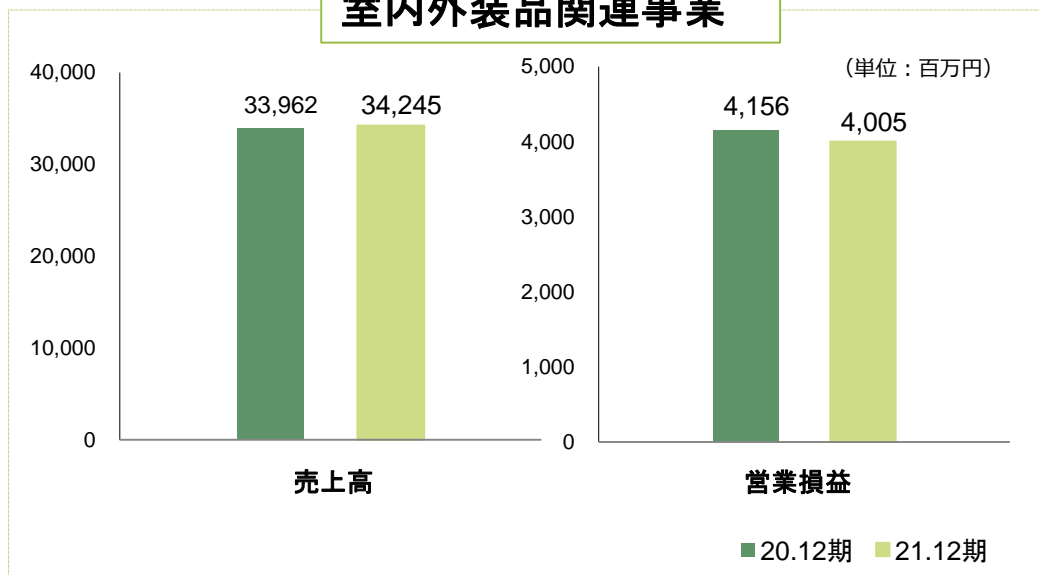


主な財務指標の推移

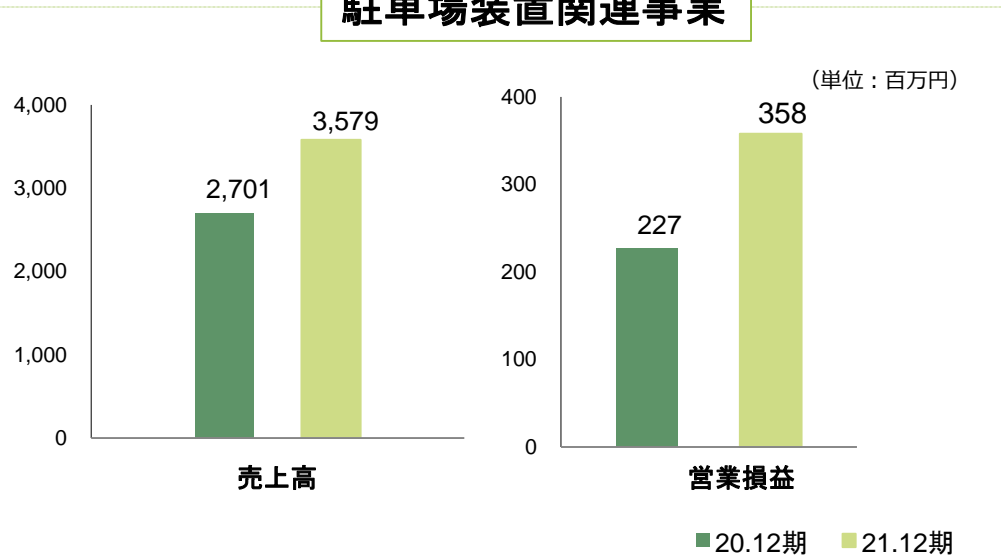
	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
ROE (自己資本当期純利益)	2.5%	3.6%	3.3%	4.6%	5.6%	7.0%	6.7%	7.6%	7.5%	7.0%
ROA (総資産経常利益率)	4.0%	4.5%	5.0%	5.5%	6.0%	7.4%	7.2%	8.1%	8.1%	7.9%
売上高営業利益率	4.5%	4.9%	5.8%	6.5%	7.3%	9.1%	9.4%	10.4%	11.3%	11.1%



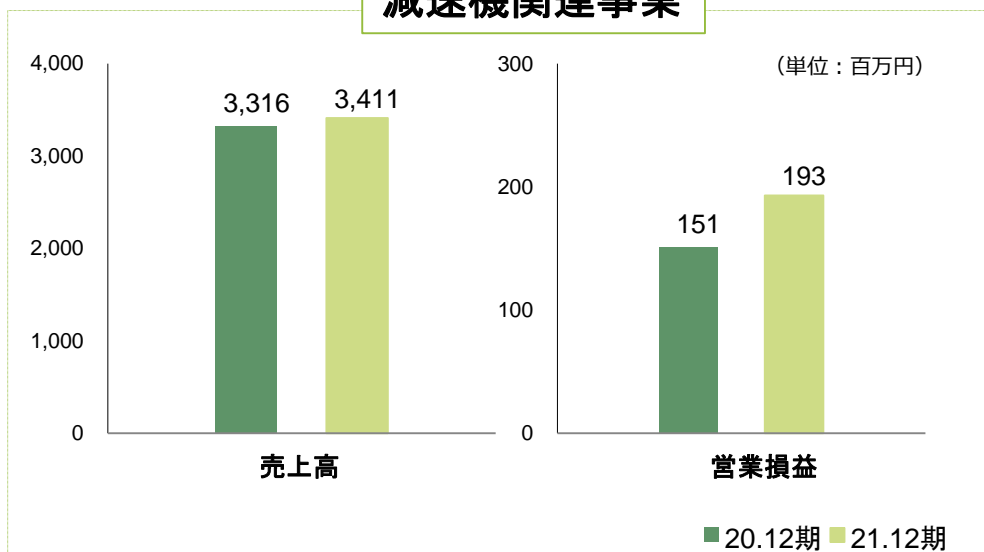
室内外装品関連事業



駐車場装置関連事業



減速機関連事業



2021年の主な新製品

高性能製品を中心に 製品ラインナップを拡充

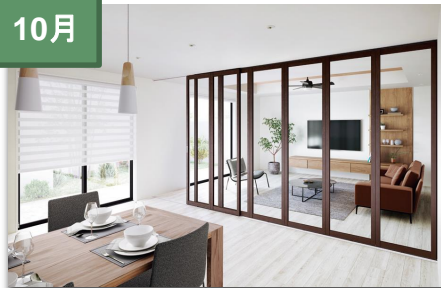
6月



ロールスクリーン「ラルクシールド」
タテ型ブラインド「ラインドレープ」



10月



間仕切「プレイス」「プレイス スウィング」



8月



グロスレス遮熱スラット
(ヨコ型ブラインド全般)

3~11月



制菌加工、抗ウイルス加工の
各種製品

SIAA
ISO 21702
抗ウイルス加工



スマートインテリアシェード「ホームタコス
ラインドレープ ペア アンサンブル」

2021年6月発売

ロールスクリーン「ラルクシールド」 タテ型ブラインド「ラインドレープ」



- ・主要製品のロールスクリーンと、SNSなどで若年層にも人気上昇中のタテ型ブラインドをトータルでリニューアル
- ・「ボタニカル」「インダストリアル」などユーザーに人気のライフスタイルや趣向に合わせて選べる多彩なラインナップへ拡充

2021年6月発売

電動タテ型ブラインド 「ホームタコス ラインドレープ ペア アンサンブル」



- ・人気の電動製品ホームタコスのラインナップに
タテ型ブラインド「ラインドレープ」の『ペア アンサンブル』が登場
- ・市販のスマート家電リモコンと組み合わせることで
スマートフォンやスマートスピーカーでも操作が可能 (IoT)

2021年10月発売

間仕切「プレイス」「プレイス スウィング」



- ・1mm単位でオーダーできる人気の間仕切2種類
- ・「ソフトクローズ機能」や「コーナー納まり」などニーズに応えた『機能』や『納まり』を拡充



2021年3月～発売

制菌加工や抗ウィルス加工の各種製品



SIAA
ISO 21702
抗ウィルス加工

- ・4月 バーチカルブラインド
制菌加工・抗ウィルス加工を施したスラット「ポルテⅡ」
- ・5月 アコーディオンスクリーン
透明レザーや制菌加工レザー「メディエ」「ソシエ」
- ・10月 透明ロールスクリーンやアコーディオンスクリーンに
透明スクリーン『クリアー抗ウィルス』を追加

2021年8月発売

「グロスレス遮熱スラット」



- ・スラット(羽根)の反射光による不快な眩しさを抑える機能
- ・ニーズの高い省エネ性と快適性の両立を実現させた新しいスラット
- ・主力製品であるアルミ製横型ブラインド全般に対応

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

【貸借対照表】

単位：百万円（ ）内は前期末比増減

《主な変動要因》

流動資産

- ・電子記録債権の増加(+1,463)
- ・現金及び預金の減少(△439)

固定資産

- ・有形固定資産の増加(+1,422)
- ・投資有価証券の増加(+241)

総資産60,687百万円(+2,908)

流動資産
40,462(+1,194)

固定資産
20,224(+1,714)

負債

13,514(+167)

純資産

47,173(+2,741)

《主な変動要因》

負債の部

- ・電子記録債務の増加(+3,151)
- ・支払手形及び買掛金の減少(△2,200)
- ・退職給付に係る負債の減少(△940)

純資産の部

- ・利益剰余金の増加(+2,303)

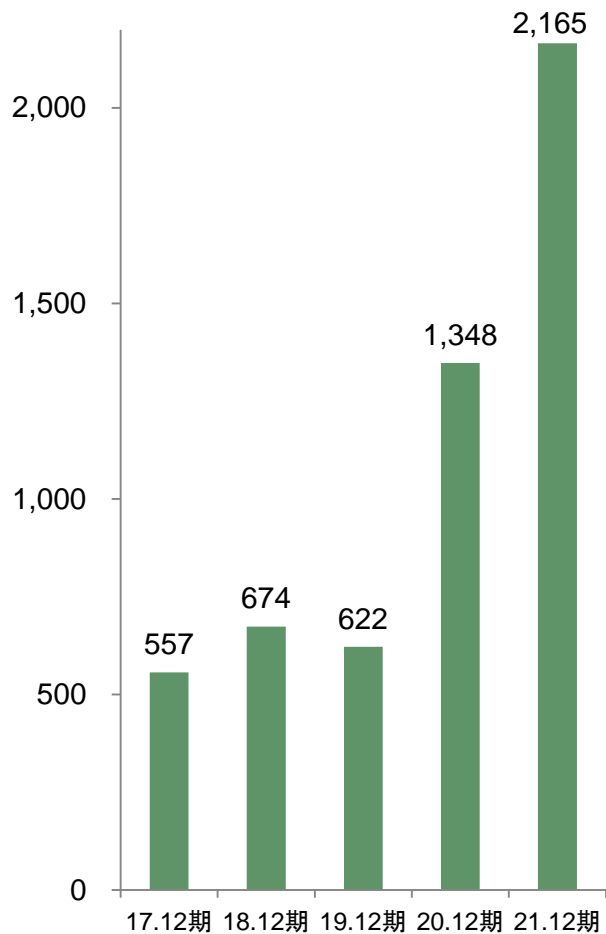
※自己資本比率 70.1%

【キャッシュフロー計算書】

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	+5,167百万円	+2,128百万円	△3,039百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,124百万円	△2,011百万円	△886百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△653百万円	△679百万円	△25百万円

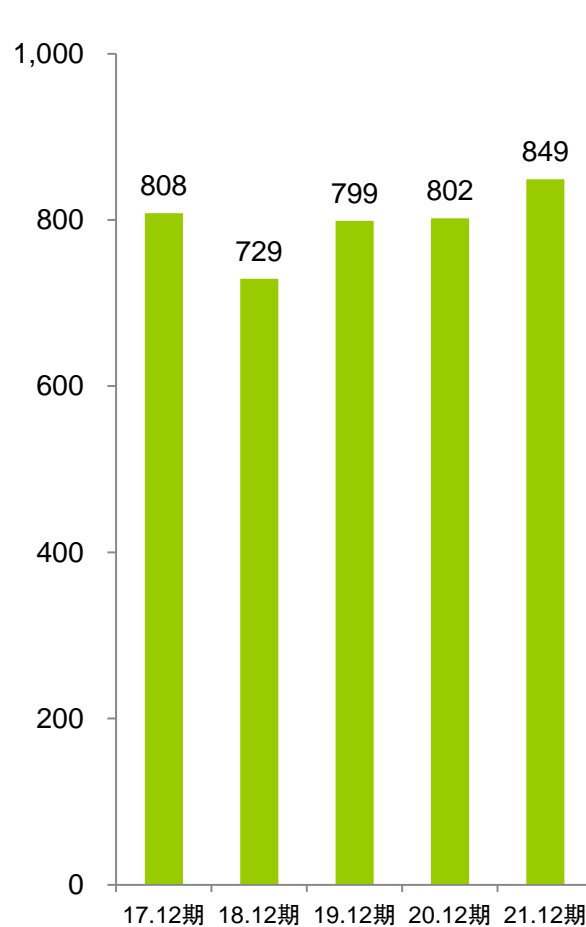
①設備投資額

(単位：百万円)



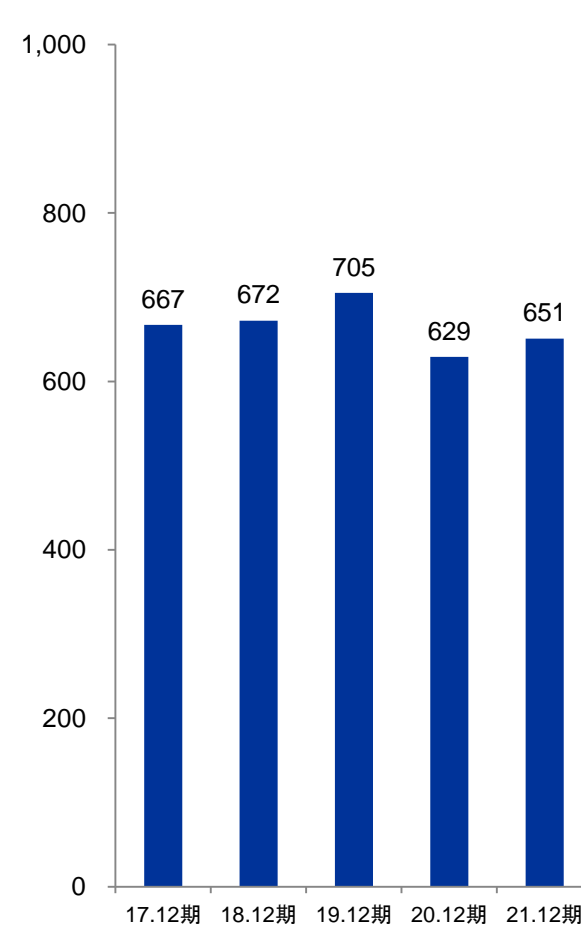
②減価償却費

(単位：百万円)



③研究開発費

(単位：百万円)

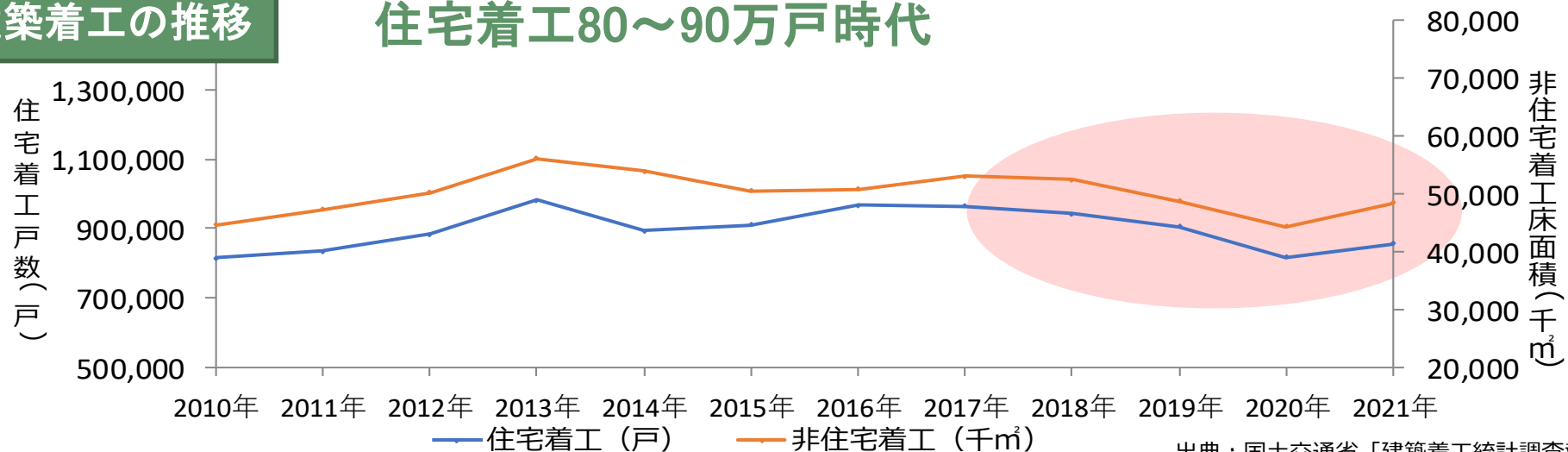




3. 今後の見通し

建築着工の推移

住宅着工80~90万戸時代

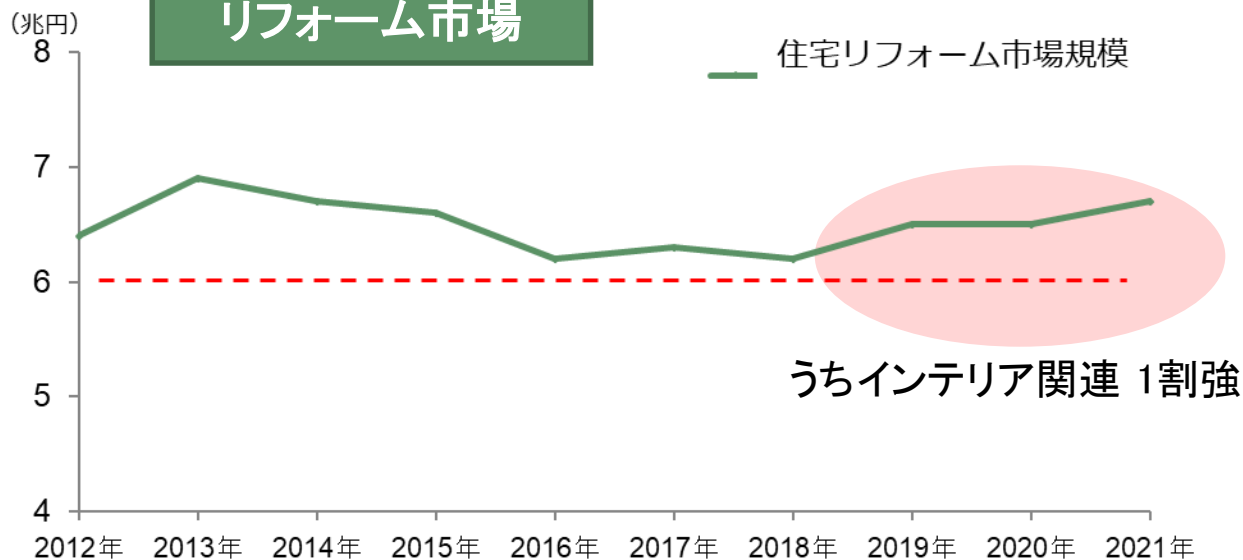


住宅ストック 需要

総世帯数
約 5,000万世帯

総務省「住宅・土地統計調査」より

リフォーム市場



出典：矢野経済研究所

取り巻く
環境

中長期的な課題・
取り組み

- コロナ禍によるニーズの多様化
- 新築住宅着工戸数の減少
- 世界的な原材料のひっ迫や価格高騰
- 事業拠点や設備の老朽化
- サステナビリティ活動の活性化

1.時代の要請とニーズに応えた製品開発と市場導入

新型コロナウイルスの感染拡大により生活様式や働き方等が大きく変化する中で、多様化するニーズに応じたより安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品を開発・提供する。

2.成長分野への取り組み強化

需要が高まる電動製品や、間仕切りをはじめとするリフォーム需要、海外市場などの成長分野への取り組みを強化する。

3.生産体制の強化

原材料の世界的なひっ迫や価格高騰が続く中においても、高品質かつ安定供給を維持し、また、生産拠点毎の生産品目の適正化と在庫の適正化にも注力する。

4.経営資源の整備

将来にわたる安定的な収益基盤の構築およびリスクマネジメント強化を図る為、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備する。

5.サステナビリティについての取り組み

SDGsに賛同し、ブラインドや間仕切りをはじめとするインテリア製品を通じて、「人にやさしい快適な環境づくり」や「環境に配慮した製品」を提案するとともに、自社においても、CO2排出量や廃棄物等の削減を推進し、環境負荷を低減しながら、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献する。
また、柔軟な働き方の推進、地域限定等の柔軟な採用、人材育成を通じ、経営の基盤となる人材確保に注力する。

(単位: 百万円)

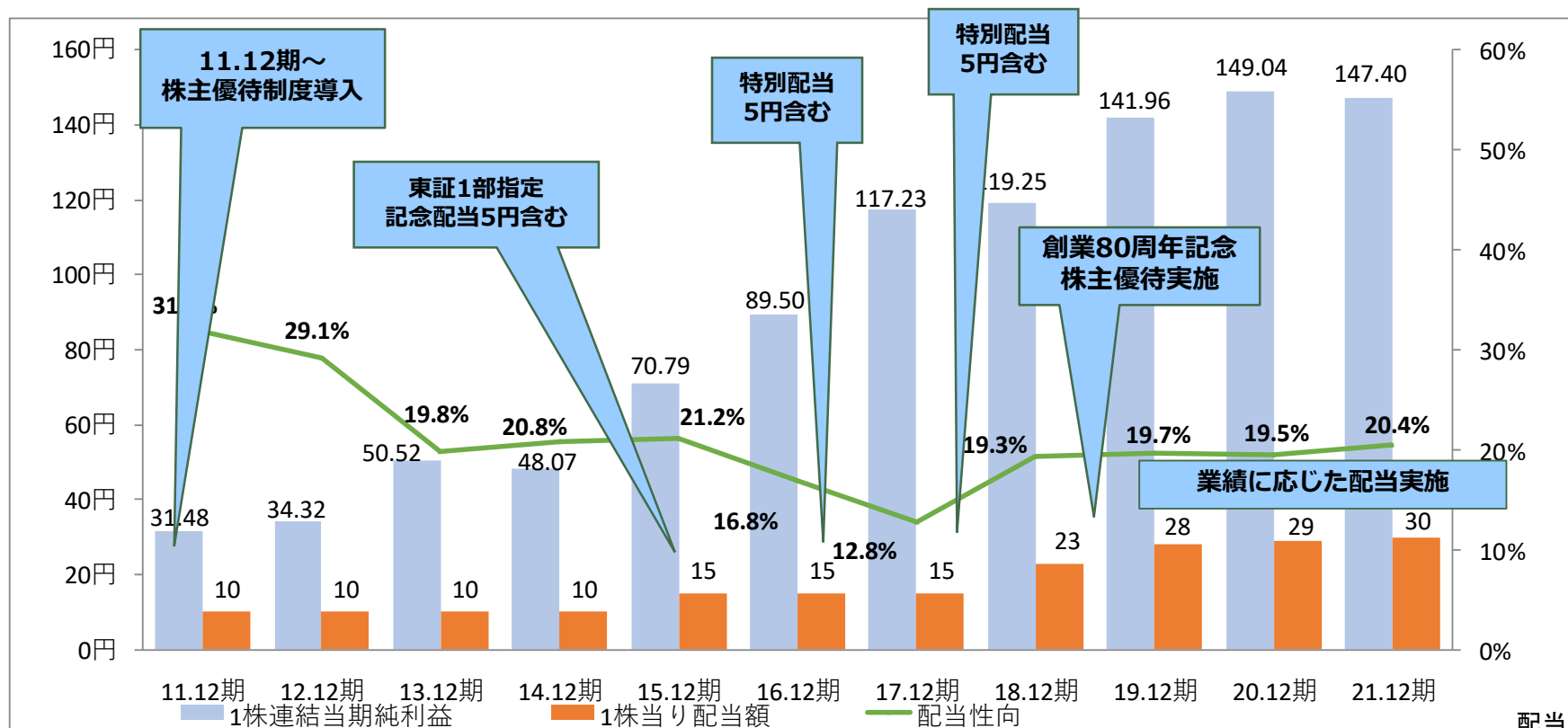
連結経営指標	2021年実績	2022年	
		業績見通し	前期比※
連結売上高	41,236	42,310	
連結営業利益	4,557	4,620	
連結経常利益	4,663	4,770	
連結当期純利益	2,868	2,920	
1株当たり当期純利益	147.40円	150.08円	

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準などを適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載していません。

配当方針

財務基盤の強化と高収益性の実現による持続的成長の為、内部留保を充実させ将来の事業展開に備えるとともに、企業価値および株主価値を向上させることを目的として、業績に応じた配当を適宜判断し行う方針としております。

2022年度の配当金につきましては、業績に応じた配当を予定しております。



配当利回り2.64%
※12月末終値で算出

立川ブラインド工業株式会社

(東京証券取引所 市場第1部 証券コード7989)

【お問い合わせ】 総務部 法務広報課

03-5484-6140

<https://www.blind.co.jp/>